

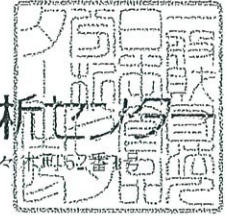
依頼者 丸紅プラックス株式会社

検体名 BAMBOO STRAW

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木四丁目1番1号



2019年09月18日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

| 分析試験項目 | 結果 | 定量下限 | 注 | 方法 |
|--|-------|------------|-------|------------------|
| オルトフェニルフェノール溶出量 | | | 1 | |
| 試験1回目 | 検出せず | 0.05 µg/ml | | |
| 試験2回目 | 検出せず | 0.05 µg/ml | | |
| 試験3回目 | 検出せず | 0.05 µg/ml | | |
| チアベンタゾール溶出量 | | | 1 | |
| 試験1回目 | 検出せず | 0.05 µg/ml | | |
| 試験2回目 | 検出せず | 0.05 µg/ml | | |
| 試験3回目 | 検出せず | 0.05 µg/ml | | |
| ジフェニル溶出量 | | | 1 | |
| 試験1回目 | 検出せず | 0.5 µg/ml | | |
| 試験2回目 | 検出せず | 0.5 µg/ml | | |
| 試験3回目 | 検出せず | 0.5 µg/ml | | |
| イマザリル溶出量 | | | 2 | |
| 試験1回目 | 検出せず | 0.2 µg/ml | | |
| 試験2回目 | 検出せず | 0.2 µg/ml | | |
| 試験3回目 | 検出せず | 0.2 µg/ml | | |
| 二酸化硫黄溶出量 | 検出せず | 3 µg/ml | 3 | |
| 溶出試験 | | | 4 | |
| ヒ素(As ₂ O ₃ として)(溶媒:4V/V%酢酸) | 検出せず | 0.05 µg/ml | | DDTC-Ag吸光光度法 |
| 重金属(Pbとして)(溶媒:4V/V%酢酸) | 検出せず | 1 µg/ml | | 硫化ナトリウム比色法 |
| フェノール類(フェノールとして)(溶媒:水) | 検出せず | 0.5 µg/ml | | 4-アミノアンチピリン吸光光度法 |
| ホルムアルデヒド(溶媒:水) | 検出せず | 0.5 µg/ml | | アセチルアセトン吸光光度法 |

注1. 割りばしに係る監視指導について(平成19年食安監発第1113001号,食安基発第1113001号)別紙1「防かび剤(オルトフェニルフェノール,チアベンタゾール,ジフェニル及びイマザリル)」。ただし,依頼者の指定により,溶出割合は検体1 cm² 当たり2 mlとした。

注2. 割りばしに係る監視指導について(平成19年食安監発第1113001号,食安基発第1113001号)別紙1「防かび剤(オルトフェニルフェノール,チアベンタゾール,ジフェニル及びイマザリル)」。ただし,依頼者の指定により,溶出割合は検体1 cm² 当たり2 mlとした。なお,定量は液体クロマトグラフィー質量分析法による。

注3. 割りばしに係る監視指導について(平成19年食安監発第1113001号,食安基発第1113001号)別紙2「二酸化硫黄又は亜硫酸塩類」。ただし,依頼者の指定により,溶出割合は検体1 cm² 当たり2 mlとした。

注4. 溶出条件:表面積1cm² 当たり2mlの溶媒を用い,60℃で30分間浸漬溶出

以上